

令和6年度 徳島県立池田高等学校辻校 学校評価計画表

重点目標	課題	活動計画	評価指標
1 進路指導の充実とキャリア教育の推進 1 生徒に卒業後の目標を持たせる 2 基礎学力の充実に図るとともに、さらなる学力の向上をめざす。 3 進路を開拓するとともに、キャリア教育を推進する。	1) 望ましい生活習慣と学習習慣の確立	① 遅刻防止や挨拶の励行、服装・頭髪などの身だしなみについて指導を行い、基本的な生活習慣の確立を図る。 ② 能率手帳や学習支援サービスを活用し、家庭学習時間の確保を図る。	① 保護者・教員アンケート「きまりやマナーを守るなど、生活指導に力を入れている」・「生徒の基本的な生活習慣を確立できている。」 80%以上 ② 家庭学習時間 平均2時間以上
	2) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な育成	① 各教科でICTを活用した授業を実施するなど学習指導方法の工夫や改善を行い、分かる授業の実施に努める。 ② 4月・9月に実施する業者テストの結果を活用した補習や課題の提示を行い、基礎学力を身につけさせる。	① 生徒アンケート「授業内容は分かりやすく工夫されている」 90%以上 ② 9月実施の業者テストにおけるG T Z D 2ー、D 3の者 30%未満
	3) 一人一人の状況把握ときめ細かな支援	① 個人面談・三者面談を実施し、生徒が進路について、主体的に考え行動する姿勢を育てる。 ② 三者面談を通じて、適切な進路情報や資料を提供し、個々の希望や適性に合った進路指導に繋げる。	① 生徒アンケート「担任等との面談が充実しており、自分の考えを伝えやすい環境である」 80%以上 ② 生徒・保護者アンケート「進路に関する情報の提供は適切に行われている」 80%以上
	4) 体系的な進路指導の推進	① 教科「産業社会と人間」や「総合基礎」、「総合的な探究の時間」、講演会・個人面談を活用して、発達段階に応じた進路指導を実施し、目標の設定や学習意欲の向上につなげる。 ② 各種資格の取得や検定試験の受検を奨励し、合格率の上昇に努める。	① 生徒・保護者アンケート「学校は進学・就職の指導に力を入れている」 80%以上 ② 一人あたりの検定受検回数 3回以上
	5) 学校図書館を活用した読書活動の推進	① 調べ学習や読み聞かせを通して、図書館の積極的な活用を推進する。 ② 「朝の読書」を実施し、読書習慣を定着させ、読解力や理解力の向上を図る。	① 図書館主催のイベント開催回数 各学期に1回以上 ② 年間の貸出冊数 1人平均2冊以上 (漫画・雑誌を除く)
	6) 国際理解教育の推進	① 英語の授業やALTをはじめとする外国籍の方々との交流をとおし、外国語への学習意欲を高める。 ② 姉妹校である台湾の君毅高級中学との交流を図る。	① 生徒の全商英語検定受検率を、前年度より増加させる ② 6月に予定される君毅高級中学からの留学生受け入れ、12月に予定する台湾への研修に、辻校として取り組む
2 人権教育の推進と学習環境の整備 1 人権を尊重し、ともに支え合う仲間づくりを推進する。 2 快適な学習環境を整備する。	1) 人権教育の組織的な推進体制の充実	① 「本校の人権教育」に沿ったホームルーム活動、啓発、研修を行う。 ② 人権新聞を発行して、人権意識の高揚を図る。	① 教職員アンケート「計画通り実施できた」 80%以上 ② 人権新聞の発行回数 5回以上
	2) 人権問題について正しい理解を図る啓発活動の実施	① P T A人権教育研修を実施し、啓発活動を図る。 ② 人権講演会の実施により、生徒の人権意識の高揚を図り、保護者・地域の方々への啓発を行う。	① 保護者・生徒の参加者数 各4名以上 ② 教職員アンケート「人権講演会やP T A人権教育研修会を行い、その後のホームルーム活動や啓発活動に活用できている」 80%以上
	3) 情報モラルの育成	① 授業やホームルーム活動、「人権の日」などを通して、情報モラルの重要性の理解に努める。 ② 情報セキュリティーポリシー実施手順に沿ったネットワーク運用を行う。	① 校内でのインターネット・携帯電話・スマートフォンによるトラブル相談件数 2件以下 ② 教職員のセキュリティーポリシー研修 3回以上
	4) 生徒の悩みやいじめの早期発見と適切な対応	① 情報交換会・年次会等で職員間の情報交換を行い、支援を必要としている生徒の早期発見に努め、共感的態度で対応する。 ② 学校いじめ防止基本方針に則り、アンケート等を実施し、いじめの早期発見と適切な対応を行う。	① 生徒・保護者アンケート「相談に学校は誠実に対応してくれている」 80%以上 ② アンケート調査の実施回数 年2回以上
	5) 安全・安心な学校環境の提供と救急処置体制の確立	① 安全点検、学校環境衛生検査により不備な箇所を把握改善し、望ましい環境下での学習能率の向上や、健康の保持を図る。 ② 救命処置の必要な場面を設定したシミュレーション研修を実施し、実践力の向上を図る。	① 生徒・保護者アンケート「救急処置体制の確立などで、安心・安全な学校環境の整備が図られている」 80%以上 ② 教職員アンケート「A E Dを用いた救命処置ができる」 100%

		6) 清潔で快適な学習環境の整備と環境保護の両立	① 全生徒・職員によって清掃活動を徹底し、教室・廊下等の整理整頓を励行する。 ② 快適な学習環境を維持しつつ、サステナブル社会に貢献する意識の向上を図る。	① 生徒・教職員アンケート「真面目に清掃に取り組んでいる」 80%以上 ② 紙の購入量、水道と電気の使用量を過去5年間平均より1割削減
		7) 災害等に対処できる教育の充実	① 毎日、校内巡視を行い、危険箇所等の把握に努め、安全・安心な学校環境の提供に努める。 ② 防災避難訓練を実施し、生徒・職員の防災対応能力を高め、災害時には自分の身を守るだけでなく、周囲への配慮ができる資質を育てる。	① 校内巡視の実施回数 毎日1回以上 ② 防災避難訓練の実施回数 年2回以上
3	地域に根ざした信頼される学校づくりの推進 1 開かれた学校づくりを行う。 2 地域に根ざした学校運営を推進する 3 保護者との信頼関係を構築する。	1) 家庭や地域社会への積極的な情報発信	① 学校開放日に授業を地域の人たちに公開する。 ② 学校運営協議会を開催し、授業公開や意見交換を行う。	① 年間実施回数 2回以上 ② 年間実施回数 2回以上
		2) PTA活動の活性化	① PTA新聞「葛の葉便り」を通じて生徒の活動、学校行事等の状況を知らせる。 ② 魅力あるPTA行事を催し、保護者の積極的参加を促す。	① PTA新聞「葛の葉便り」の発行回数 年2回以上 ② 保護者の学校行事参加回数 年2回以上
		3) ホームページを利用した広報活動充実	① 教職員への研修を行い、ホームページのコンテンツの充実に努める。 ② ホームページの同窓会コーナーを充実させる。	① 教職員アンケート「迅速に辻校のホームページに情報を掲載できている」 80%以上 ② 教職員アンケート「同窓会のホームページは充実している」 80%以上
		4) 地域との連携の推進	① 地域の清掃活動やイベントなどのボランティア活動を通し、地域との連携を図る。 ② 地域と連携した活動の推進に努める。	① 生徒の辻校清掃ボランティア活動への参加 全校生徒の50%以上 ② 保護者アンケート「地域と連携し、開かれた学校づくりに努めている」 80%以上

4	職員のワークライフバランス実現のために、働き方改革への推進を図る	1) 勤務時間の管理と意識改革	① 夏期・冬期休業中の学校閉庁日の設定	① 教職員アンケート「夏期・冬期休業中の学校閉庁日を有効に活用できている」 80%以上
			② ノー部活デーの設定	② 教職員アンケート「ノー部活デーを月1回以上設け、有効に活用できている」 80%以上
			③ 半日単位や時間単位の休暇の利用促進	③ 教職員アンケート「半日単位や時間単位の休暇の利用ができている」 80%以上
		2) 業務改善の推進と外部人材等の活用	① 会議の精選や会議時間の短縮の推進	① 教職員アンケート「会議の精選や会議時間の短縮が図られている」 80%以上
② スクールカウンセラー等、専門家との連携	② 教職員アンケート「スクールカウンセラー等との連携が図られている」 80%以上			